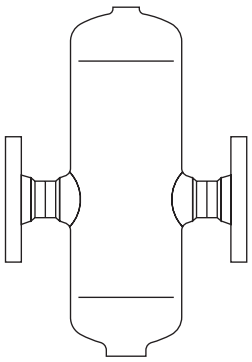
IM-P023-55IS9.1

ET-520
Issue 1

S20型 及び S20SS型セパレーター
取扱説明書



1. 安全のための注意
2. 製品仕様
3. 設置
4. 始動
5. 運転
6. 保守
7. 予備部品

First for Steam Solutions
EXPERTISE | SOLUTIONS | SUSTAINABILITY

© Copyright 2012 JP24102013

BLANK PAGE

1. 安全のための注意

取扱説明書に従って、有資格者が、設置・始動・保守点検を正しく行なうことにより、これらの製品が安全に稼動できます。配管および工場建設の工事説明書、安全のための注意に従って、適切な工具を使用し、安全設備を整えて行なわなければなりません。

警告

ガスケットには、薄いステンレス鋼製のサポート・リングが含まれています。怪我をしないように取扱いおよび廃棄には十分注意してください。

1.1 使用上のお願い

取扱説明書・銘板・技術資料を参照して商品が使用目的に適しているか確認してください。この製品は、European Pressure Equipment Directiveの規則97/23/ECに適合します。

製品		グループ 1 気体	グループ 2 気体	グループ 1 液体	グループ 2 液体
S20 および S20SS	15A	SEP	SEP	SEP	SEP
	20A - 25A	2	1	SEP	SEP
	32A - 50A	3	2	2	SEP
	65A - 80A	3	2	2	SEP

I. この製品は上記の Pressure Equipment Directiveが定めるグループ1に属するプロパンあるいはメタンガスに使用できるように設計されています。Pressure Equipment Directiveが定めるグループ2に属する蒸気、空気、ドレンにも使用することができます。他の流体に使用する場合は、製品に適合するかスパイラックス・サーコにお問い合わせください。

II. 材質の適合性・圧力および温度、それらの最大・最小条件を確認してください。製品の不具合により危険な過剰圧力が生じた場合、設計定格を超えた稼動を防ぐ安全装置をシステムに設置してあるか確認してください。

III. 製品のいくつかは、エンドユーザー（あるいは代理店）の意向で、フランジ形状に改造されてご提供されます。国際的なフランジの規格に従って行うこと、および製品の設計定格および稼働が低下しないことを確認することは、改造を実施する組織の責任です。**認可されていない改造あるいはそれにより要望を達成できない結果が生じても、スパイラックス・サーコは責任を負いかねます。**

IV. 流体の流れの向きに合わせて、正しく設置してください。

V. 設置するシステムの配管応力に耐えるように設計されていません。配管設計において配管応力が最小になるようにしてください。

VI. 蒸気あるいは他の高温に装置に設置する前に、すべてのコネクションの保護カバー、銘板の保護フィルムを外してください。

1.2　作業通路
安全な作業通路を確保してください。製品の設置前に、必要ならば作業用の足場を設置してください。または荷揚げツールを準備してください。

1.3　照明
十分な照明を確保してください。精密で複雑な作業を行なう場合、特に配慮してください。

1.4　配管内の危険な流体および気体
配管内にどのようなものが残留しているのかあるいは流れていたのか、十分に確認してください。特に燃えやすいもの・身体に危険を及ぼすもの・温度の極端に高いものまたは低いものです。

1.5　危険な環境
爆発の危険性のある場所・酸欠の恐れのある場所（例：タンク、ピット）・危険な気体・温度の極端に高いあるいは低い場所・表面が高温になっている装置・発火の恐れのある場所（例：溶接作業中）・騒音のひどい場所・機械が運転中の場所です。十分に注意してください。

1.6　配管システム
決められた作業手順に従って行なってください。作業手順（例：遮断弁を閉める、電気絶縁をする等）は、システムあるいは危険な場所で作業するすべての人に適用してください。ベントあるいは保護機器を遮断すること、制御機器あるいは警報機を無効にすることは非常に危険です。遮断弁の開閉はゆっくりと行なってシステムへの衝撃を防いでください。

1.7　圧力システム
圧力を遮断して、安全に大気圧まで排気されていることを確認してください。二重の遮断・排気弁の設置・バルブ閉止の施錠や表示を行なうよう考慮してください。圧力計がゼロを示してもシステムの圧力が完全に抜けたと思わないでください。

1.8　温度
火傷の危険を避けるため温度が常温になるまで作業をしないでください。

1.9　工具および部品
作業を開始する前に工具および部品が揃っていることを確認してください。必ずスパイラックス・サーコの純正交換部品を使用してください。

1.10　防護服
化学薬品・高温／低温・放射線・騒音・落下物等の危険がある場所では防護服を着用してください。目および顔面への危険を避けるためヘルメット・防護眼鏡を使用してください。

1.11　作業の許可
有資格者あるいは有資格者の監督下ですべての作業は行なってください。設置および運転を行なう者は取扱説明書に従って製品を正しく使用できるようにしてください。
正式な許可が必要な地域ではそれに従ってください。作業責任者は作業全体を把握すること、必要な場所では安全管理者を配置することをお奨めします。必要ならば‘警告事項’を掲示ください。

1.12　操作
大きく重たい製品を手動で扱うと怪我をする可能性があります。重いものの持ち上げ・押し付け・引き揚げ・運搬・支持で特に背中を痛めることがあります。危険を避けるため作業状況に合わせて適切な機器を使用することをお奨めします。

1.13　残留物の危険性
通常の使用で製品の表面は非常に熱くなります。最高の使用状態では製品の表面温度は300℃に達します。ドレンは自動的に排出されません。製品を分解あるいは取り外す時は十分に注意してください。（保守の説明を参照してください。）

1.14　凍結
氷点下になる地域で自動的にドレンを排出しない製品を使用される時は、凍結を防ぐ対策を行なってください。

1.15　廃棄
取扱説明書に特別の記述がない場合リサイクルできます。廃棄の際は適切な処置を行なうことにより環境汚染を生じることはありません。

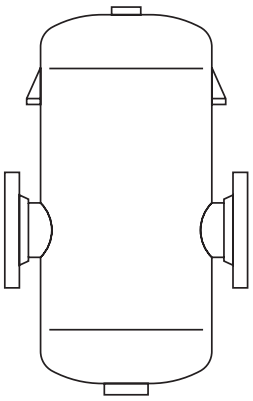
1.16　製品の返却
ECの健康・安全・環境に関する法律により、製品の返却時に、健康・安全・環境に危害を与える可能性のある残留物あるいは機器に損傷がある場合は、危険や予防策を予め報告しなければなりません。危険物質および潜在的な危険物に関する報告を含めて文書にて連絡してください。

2. 製品仕様

2.1 概要

この製品はバッフル型のセパレーターで、蒸気、圧搾空気およびガスシステムに含まれるドレンの除去に使用します。セパレーターの性能向上のため、保温ジャケットの使用をお奨め致します。
注記:製品の詳細は、以下の技術資料をご参照ください。

型式	材質	口径	接続	技術資料
S20	炭素鋼	15A- 80A	ねじ込み・フランジ	TI-P023-K001
S20SS	ステンレス鋼	15A - 80A	ねじ込み・フランジ	TI-P023-K002



3. 設置

注記:設置を始める前に1章の ‘安全のための注意’ をご覧ください。

取扱説明書、銘板および技術資料を参照して、製品が目的にあっているか、確認します。

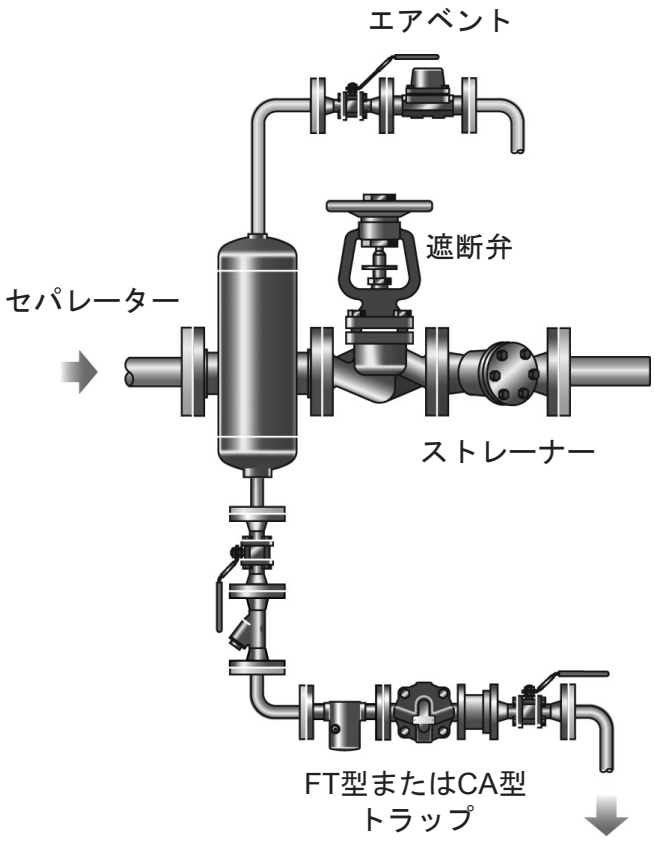
3.1 材質、圧力および温度の最高値を調べます。もし、製品の最高使用限度が、取り付けるシステムの限界より低い場合は、過剰圧力を防ぐ安全装置が備わっていることを確認します。

3.2 設置場所および流体の流れ方向を決めます。

3.3 蒸気やその他の高温の流体に接する前に、全ての接続部のカバーおよび銘板の保護フィルムを外します。

3.4 必要ならばセパレーターを保温材で覆います。

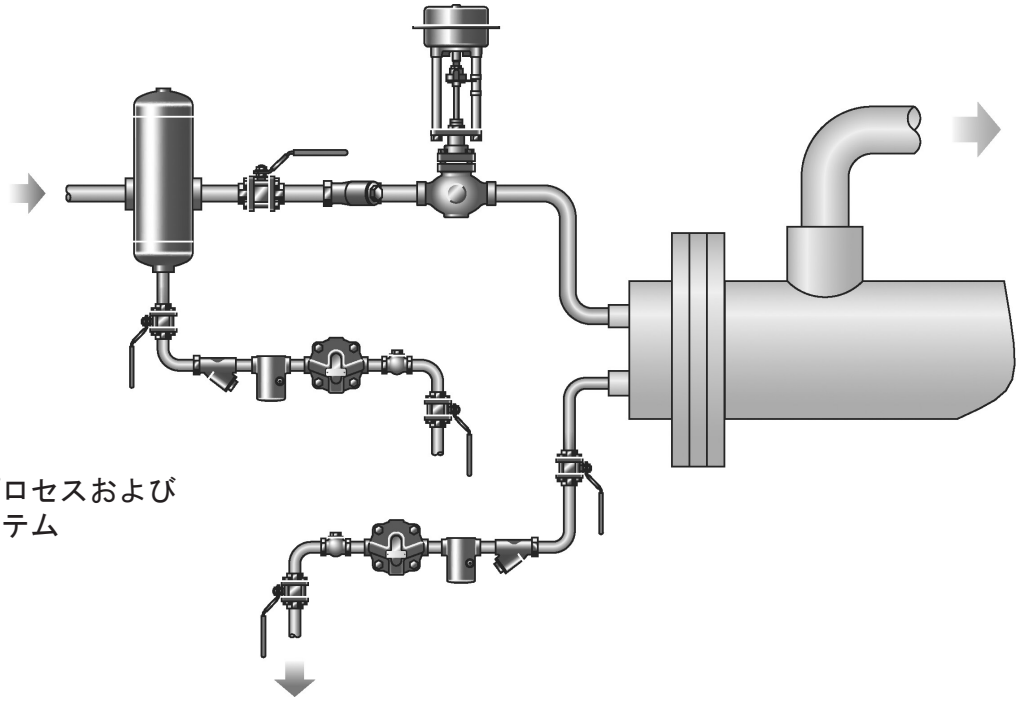
3.5 水平配管にドレン出口が下になるように設置します。配管の荷重を最少にするため、すべてのサイズに、サポート・ブラケットがついています。ブラケットには2個のドリル穴が付いています。分離した流体を素早く排出できるように、流体ドレナーあるいはスチーム･トラップをドレン接続に取り付けます。フロート式のスチーム･トラップをお奨めします。
スチーム･システムに空気が混入している場合、空気はセパレーターの上部に集まります。適切なエアベントをエアベント接続に取り付けます。
エアベントが付いていない場合、プラスチック製のトランジット保護プラグを取り外し、class 3000 lbの炭素鋼製プラグを取り付けます。



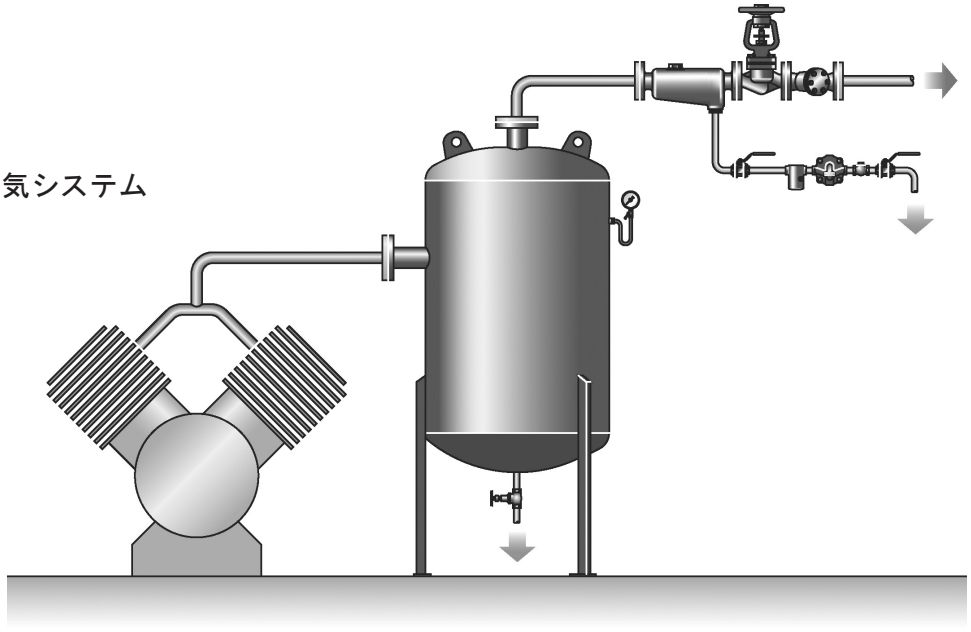
蒸気ラインのセパレーター

4. 始動

設置あるいは保守の後、システムが完全に機能していることを確認します。警報機あるいは保護機器のテストを実施します。



熱伝達プロセスおよび
保護システム



圧搾空気送気システム

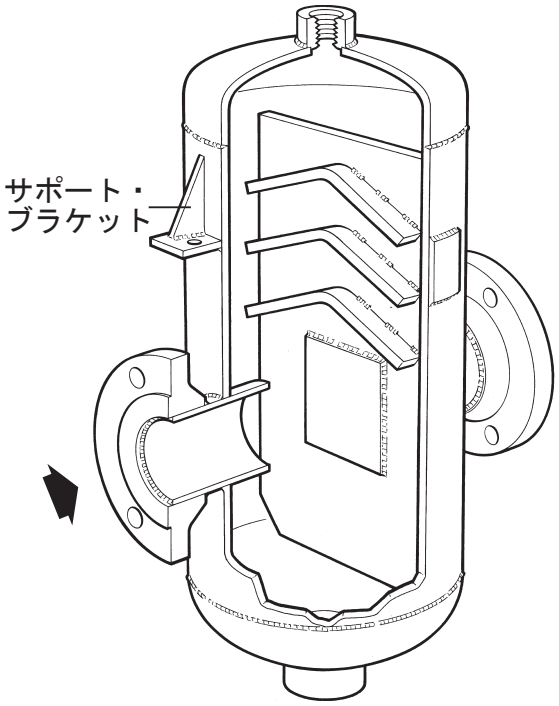
5. 運転

セパレーターは、混流している微細な液体/ドレン粒を集めて、ガス/蒸気から分離するように設計されています。適度に集まり重くなった水滴は内部のバッフルに衝突して、直接セパレーターのドレン出口に到達し、スチーム･トラップを使って（空気あるいはガス分配システムの場合、流体ドレナーを使って）除去されます。

6. 保守

注記：保守を始める前に、章１の安全のための注意をご覧ください。

警告：
保守が必要な内部部品はありません。



7. 予備部品

予備部品はありません。

BLANK PAGE

お問い合わせは下記営業所もしくは取扱い代理店までお願いいたします。

スパイラックス・サーコリミテッド

イーストジャパン **ノースジャパン**	■電話（フリーダイヤル） 0800-111-234-2	■FAX (043)274-4818	■住所 〒261-0025	千葉市美浜区浜田2-37
ウエストジャパン	■電話（フリーダイヤル） 0800-111-234-3	■FAX (06)6681-8925	■住所 〒559-0011	大阪市住之江区北加賀屋2-11-8 北加賀屋千島ビル203号
技術営業サポート	■電話（フリーダイヤル） 0800-111-234-1	■FAX (043)274-4818	■住所 〒261-0025	千葉市美浜区浜田2-37

取扱説明書の内容は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

spirax sarco